

2015年4月度 中部品質工学研究会 議事録

1. 開催日時

2015年4月4日(土) 10:00～16:00

2. 開催場所

ITEQ本社

3. 参加者<50音順、敬称略>出：出席、欠：欠席、書：書記、休：休会

井上	出	伊藤	出	梅本	欠	大見	出	奥田	出	杉浦	出	則尾	出	林(p)	出
三浦	出	牧野	出	山口	出	横尾	欠	舟山	出	城越	出	池田	休	森	休
														和田	休

4. 事務局関係

① 会員自己紹介

② 会則の確認

修正案：企業の予算取りの関係上、会費の納入は1年間をベースとし、希望者のみ半年とした方が良いのではないかと？

③ 今季事業計画確認

今期研究会スケジュール確認

講演講師候補：原先生、手島先生

④ 各月の議事録担当、テーマ担当の決定。

⑤ 輪講内容の検討

輪講書籍：田口玄一論説集第3巻

輪講順番は大見氏が検討する。

⑥ 研究会員名簿の確認

各自名簿を確認し、変更等ある場合は大見氏に連絡する。

⑦ 幹事の決定

幹事：大見、牧野、杉浦

会計：伊藤

5. プランジャ型ソレノイドの機能について(その8)/山口

これまで検討してきた内容について総括を行った。

また、次回研究会で関西品質工学シンポジウムで発表するストーリー(骨子)を作成し報告する。

6. 機能製品の不適合発生原因とその対策(詳細割愛)

7. TM演習セットの紹介/三浦

第22回 コマ実験セット 論文36掲載品 P142-P145

2014/10/07 ￥37,000でスタンダードSetを購入、試験テストを実施。

目的：品質工学の概念を先ずは習うより慣れろの立場で実習するため

結果：モーター操作の訓練不足で最適S/N比はNG・感度はOKと半分。

実験は、工業高校でも操作出来る様にL18付きの専用ソフトの活用。

気づきとして、実験の目的・計画や何が制御因子・誤差要因・交互作用等の事前検討を行うことが重要と認識しました。

社内ノウハウDB部会への案内を予定。

8. テープの目的機能、基本機能、理想機能について、簡単な模式図を用いて説明した。

目的機能⇒粘着力 基本機能⇒糊厚み 理想機能⇒分子量分布。

9. 次回案内

日時：2015年5月9日(土)

場所：中部品質管理協会

以上